

# もも・ネクタリン特報



## 【定期散布】

・隣接する園地や収穫中の作物に飛散しないよう十分注意する。

もも

### 第11回 定期防除

散布時期：前回散布から14日後（8月17日～8月23日頃）

\* 除袋間近な場合は、除袋後に散布を実施する。

散布薬剤： 水	100%
展着剤	20ml
オーシャインフロアブル	50ml（前日、3回）
サムコルフロアブル10	20ml（前日、2回）

散布日	8月	日
散布量		リットル

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ

10a 当り散布量：600%

#### 【注意事項】

- ① ミカンキイロアザミウマの発生が心配される場合は、サムコルフロアブル10に代えて、コテツフロアブルの2,000倍(前日、2回)を使用する。また、下草刈りを徹底する。

ネクタリン

### 第11回 定期防除

散布時期：前回散布から14日後（8月17日～8月23日頃）

散布薬剤： 水	100%
展着剤	20ml
オーシャインフロアブル	50ml（前日、3回）
サムコルフロアブル10	20ml（3日前、2回）

散布日	8月	日
散布量		リットル

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ

10a 当り散布量：600%

#### 【注意事項】

- ① もも混植園で、ミカンキイロアザミウマの発生が心配される場合は、サムコルフロアブル10に代えて、コテツフロアブルの2,000倍(もも：前日、2回 ネクタリン：7日前、2回)を使用する。また、下草刈りを徹底する。

◇果実腐敗防止対策 降雨が続く場合、系統の違う剤をローテーション散布する。

\*詳細は、もも・ネクタリン特報No.9をご覧ください

次頁には、生育情報と除袋目安が掲載されております。

収穫の際は、まず食べてみて味を確かめましょう。（熟度優先）  
 明らかに地色が残る未熟果は、収穫しないようご注意ください。  
 成熟は前年よりも10～12日程度遅れると予想されます。  
 除袋・反射マルチ・葉摘み等の管理作業は、早めに進めましょう。

## 1. 収穫開始予想

直前の気象条件により前後します。下表を参考に、果実の状況を見て収穫適期を判断しましょう

\*樹勢衰弱が見られる場合は、熟期が早まりますので、ご注意ください。

	品種名	南部地区	平岡地区
もも	川中島白桃	8/23～	8/25～
	黄金桃	8/24～	8/26～
ネクタリン	ファンタジア	8/28～	8/30～

## 2. 除袋目安

\*あくまで目安ですので、果実の地色の抜け具合を確認し、除袋をすすめましょう。

品種	除袋 目安
川中島白桃、黄金桃	収穫10日前までに

## 3. 新梢管理について

樹冠内部や主枝・亜主枝の背面から発生した旺盛な徒長枝は、成葉4～5枚残して摘芯する。  
 樹勢が弱い樹は過度に摘芯するとさらに樹勢低下を招くので、できるだけ新梢は切らない。

## 4. かん水について

1週間降雨がない場合、晩生種以降の品種は灌水を行う。  
 収穫7日前には、灌水を止める。（食味重視のため）

## 5. 反射マルチの利用

**高温による果肉障害（軟化）対策として白色マルチ・タイベック等を活用しましょう！**

★大部分の果実は下を向いています。樹下から紫外線をあて着色向上を！！

白色マルチ「タイベック」を使用すると、着色向上と成熟の極端な進みを回避できます。

【使用時期】・着色しやすい品種＝収穫5～7日前      ・着色しにくい品種＝収穫10～14日前

**枝折れが散見されます。支柱立て等を実施しましょう。**